

岐阜

# 観光レポート

10月

2022.10.1-10.31

Tourism report 2022

発行：一般社団法人 岐阜県観光連盟（地域連携 DMO）

発行日：2022 年11月30日



恵那峡(恵那市)

お問い合わせ先：一般社団法人 岐阜県観光連盟  
観光マーケティング課

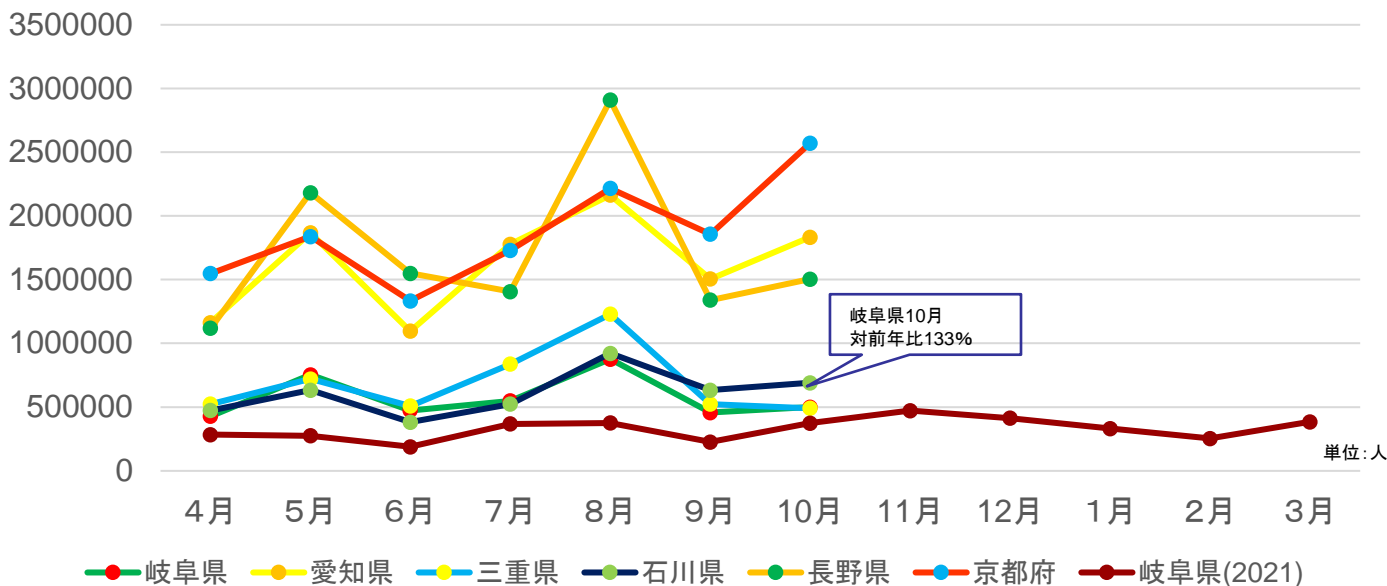
〒500-8384 岐阜県岐阜市萩田南5-14-12  
岐阜県シンクタンク庁舎4階  
TEL 058-275-1480 FAX 058-275-1483  
E-mail info@kankou-gifu.or.jp

 岐阜の旅ガイド  
Gifu Travel Guide



# 全国の宿泊動向

総宿泊者数推移(月別)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
岐阜県	428	753	472	549	856	457	500					
愛知県	1,163	1,867	1,096	1,778	2,163	1,506	1833					
三重県	523	721	508	838	1,229	524	491					
石川県	473	632	382	523	921	633	690					
長野県	1,118	2,182	1,549	1,406	2,909	1,339	1504					
京都府	1,548	1,838	1,333	1,730	2,215	1,857	2571					

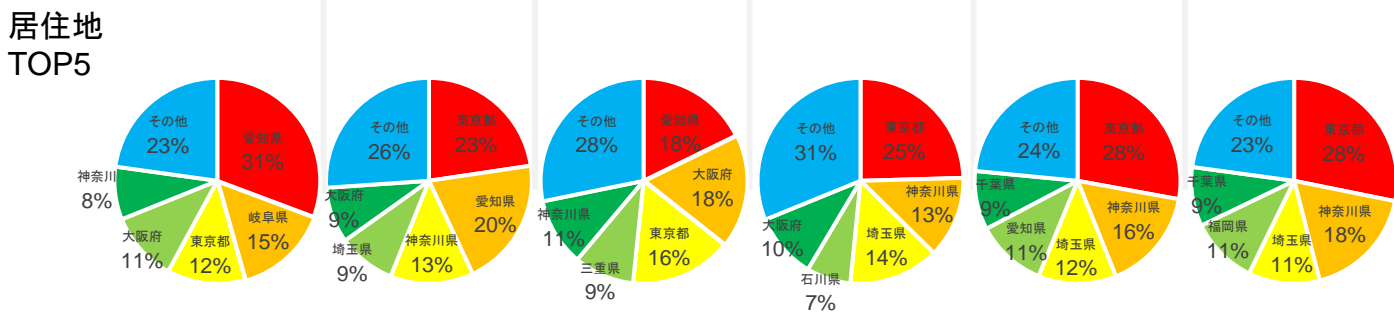
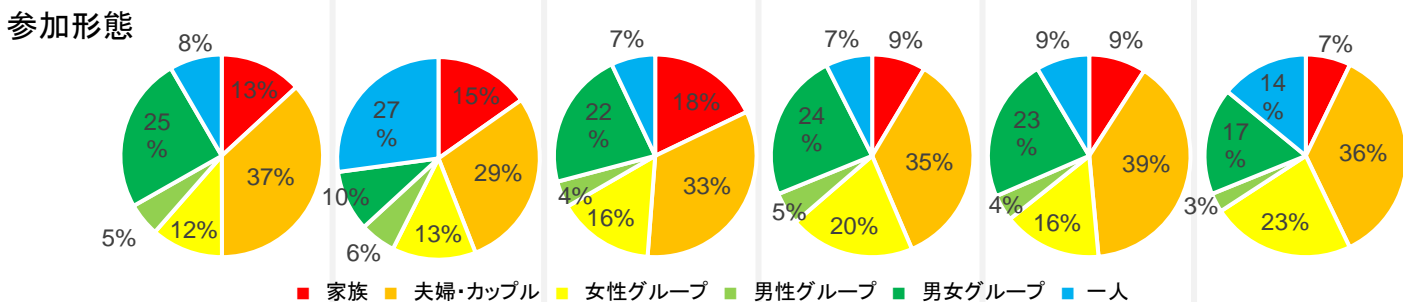
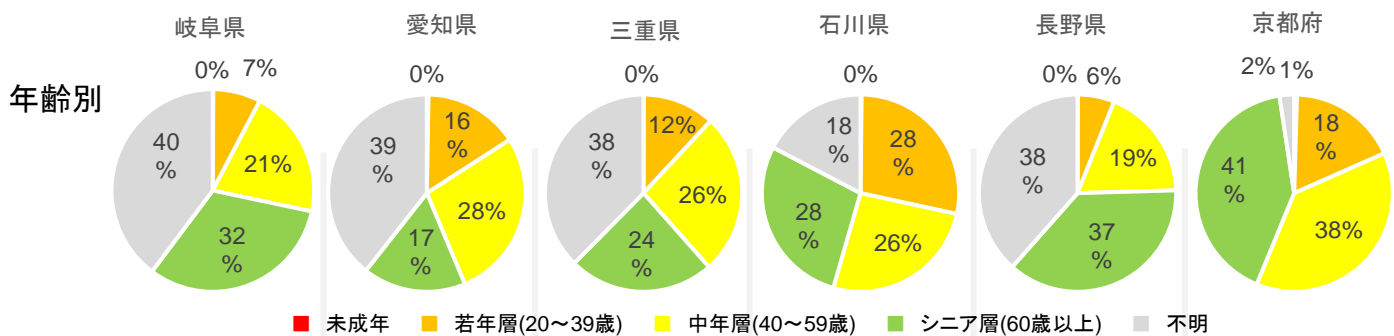
## 当月における重要なインサイト

出典: 観光予報プラットフォーム

### 【宿泊動向】

- 全国旅行支援解禁の影響か、各府県とも対前年比で増加傾向を示した月となった。(岐阜県は対前年比133%)
- 京都府が大幅な伸びを示しているが、秋の行楽シーズンに加えて、全国旅行支援が開始されたため、全国各地からの訪問者が京都府に集まったのではと推察できる。
- 全体的に岐阜県との類似性がある石川県との比較でいうと、前月は岐阜県の減少率が顕著であったが、今月は石川県と同様に前月比で増加している。
- 三重県においては、他と比較して伸び率が低めの結果となっている。過去の参加形態のデータを見ると、三重県は家族比率が大きいことから、夏休みに家族旅行が増えた反動もあり、他県と比較して伸びが低かったのではと推察できる。
- 京都府・愛知県においては、伸び率が顕著となったが、この結果は旅行先としての魅力というより、全国旅行支援で動く旅行者のクイックな動きを受け入れるための、宿泊キャパの大きさが寄与しているのではないかと考えられる。

# 全国の宿泊動向



出典：観光予報プラットフォーム

## 当月における重要なインサイト

### 【宿泊動向】

#### (年齢別)

- 年齢別データは、毎月不明データの割合が多いが、当月の京都府ではほぼ解消されている。

#### (参加形態)

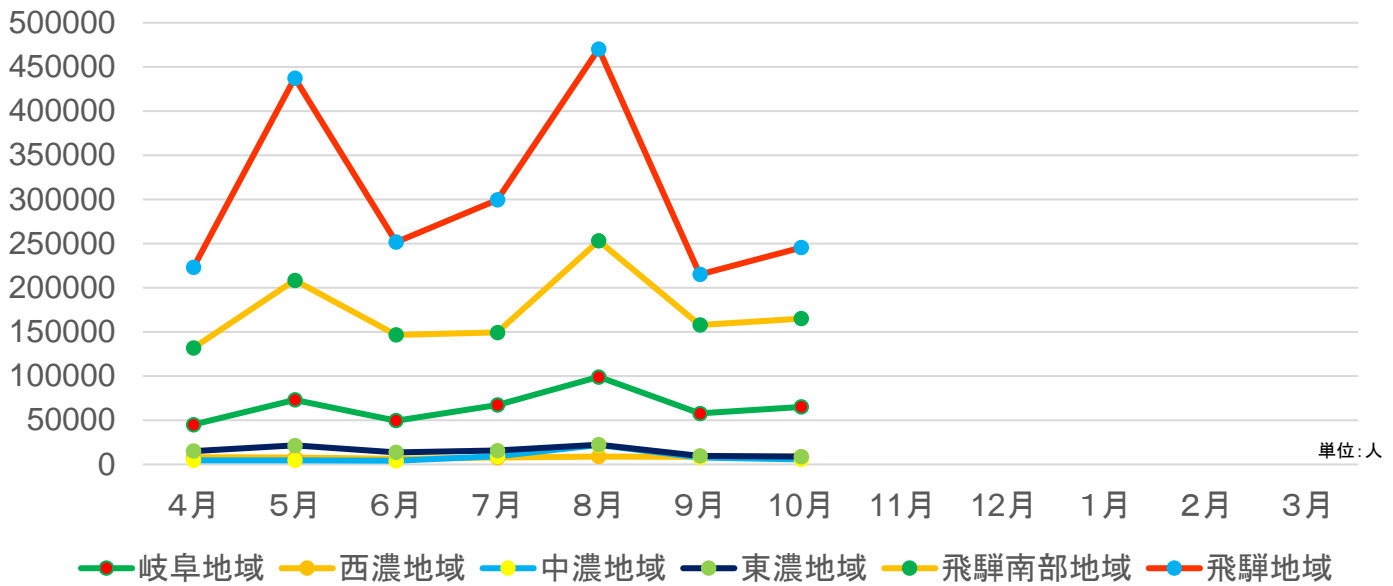
- 参加形態については、各府県とも前月とほぼ同様の状況となっている。

#### (居住地)

- 居住地ランキングにおいては、各府県においてほぼ前月と同様の状況となっている。
- 全体的に、全国旅行支援スタートの影響か、自県比率が若干減っている。(とはいえ、大幅に減っているわけではないので、自県の宿泊施設に泊まる消費行動が定着しつつあるのかもしれない)
- 前月からではあるが、京都府のみ千葉県がランクインしている。
- 石川県・長野県・京都府では、埼玉県がランクインしている。うち、石川県と長野県については北陸新幹線の影響ではないかと考えられる。

# 岐阜県の宿泊動向

総宿泊者数推移(月別)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
岐阜地域	45	73	50	67	99	58	65					
西濃地域	8	8	6	8	9	8	9					
中濃地域	5	5	4	9	22	8	6					
東濃地域	15	22	14	16	22	10	9					
飛騨南部地域	132	208	147	149	253	158	165					
飛騨地域	223	437	252	300	470	215	246					

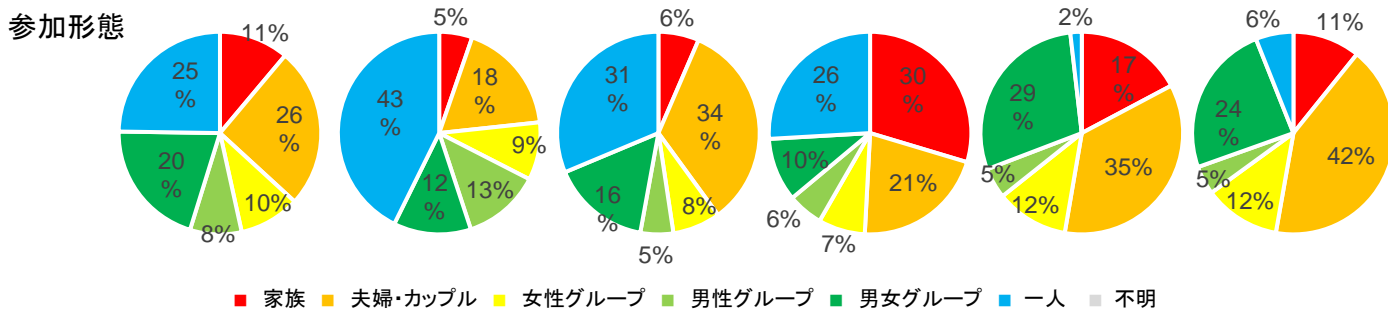
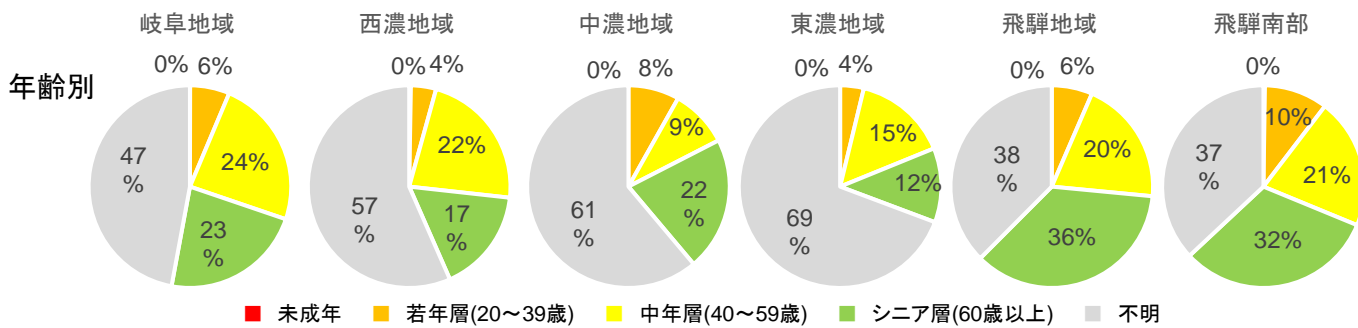
出典: 観光予報プラットフォーム

## 当月における重要なインサイト

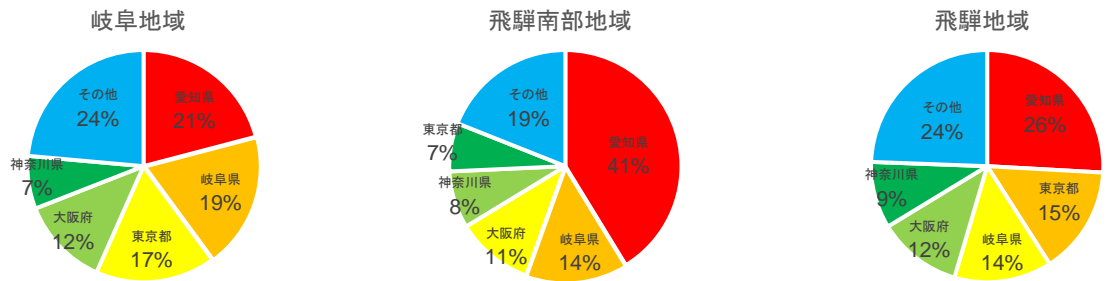
### 【宿泊動向】

- 全国旅行支援が開始され、宿泊施設が所在する岐阜地域・飛騨地域・飛騨南部地域では対前月比で増加に転じた。
- 飛騨地域が伸び率で最も大きな結果となったが、こちらは飛騨南部地域に比して東京都等関東エリアの支持が高いエリアであり、ブロック割から全国旅行支援への移行の影響がより鮮明に出た結果であると考えられる。また、秋の高山祭の開催も増加の一因と考えられる。

# 岐阜県の宿泊動向



## 居住地 TOP5



出典: 観光予報プラットフォーム

## 当月における重要なインサイト

### 【宿泊動向】

(年齢別)

- 当月は、総じて年齢不明の割合が大きいため、検証を控える。

(参加形態)

- 参加形態については、全エリアにおいて、概ね前月と同様である。

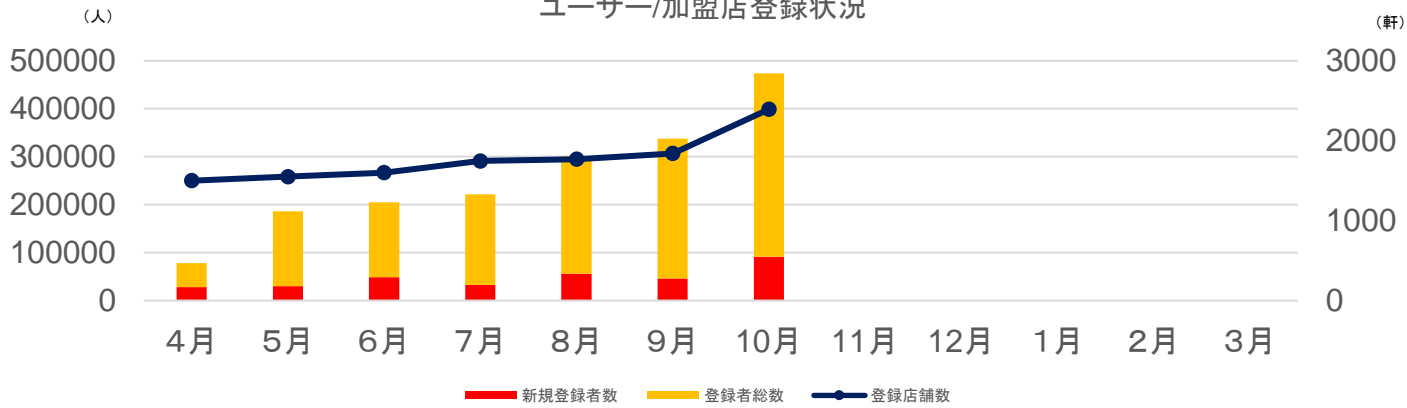
(居住地)

- 居住地ランキングにおいては、各地域とも概ね前月と同様である。

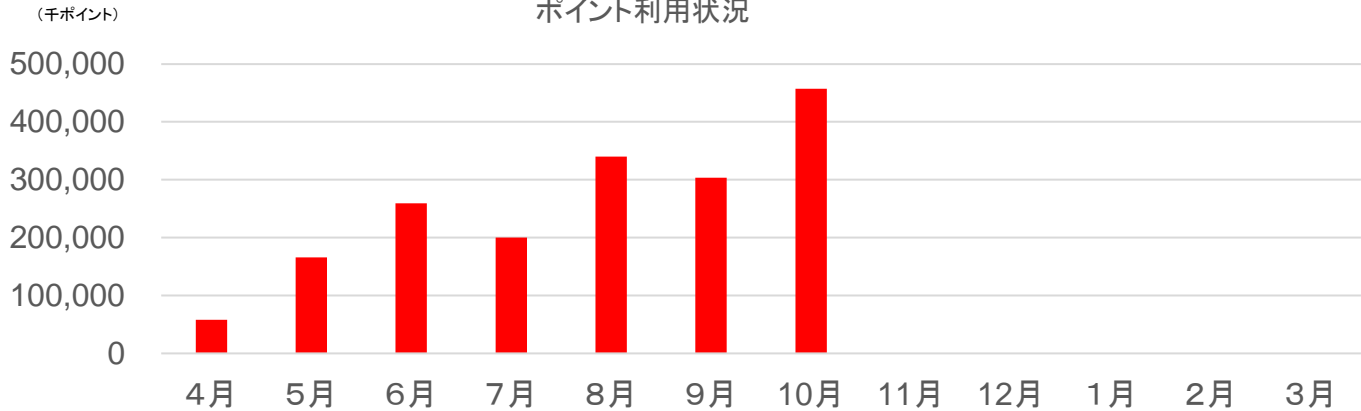


# ぎふ旅コインの利用状況

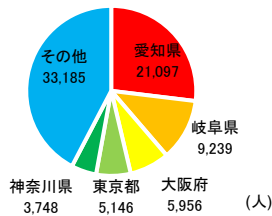
## ユーザー/加盟店登録状況



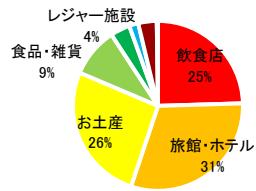
## ポイント利用状況



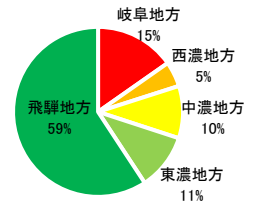
### 県別登録者の割合 (top5)



### 業種別利用ポイント



### 地方別利用ポイント



## 当月における重要なインサイト

### 【Webサイト】

・全国旅行支援や秋の行楽シーズンの影響によりアクセスが増加している。

### 【SNS運用実績】

・Instagramは広告を出稿したため総リーチ数が増加しているが、リアクション率が低下している。(前月2.2%→当月1.4%)

### 【岐阜旅コイン】

- ・10月より全国旅行支援が始まったことにより、ユーザー数、加盟店舗、利用ポイントともに増加した。
- ・県別登録者の上位5位以内に大阪府、東京都、神奈川県が初めてランクインしたほか、その他割合が大きく増加している。(6,590人→33,185人)
- ・業種別利用ポイントは「旅館・ホテル」の利用割合が前月より5ポイント増加している。(前月26%→当月31%)
- ・飛騨地方での利用は、前月比7ポイント増加(前月52%→当月59%)と顕著であることから、旅行者の多くが飛騨地域に集中したと考えられる。